

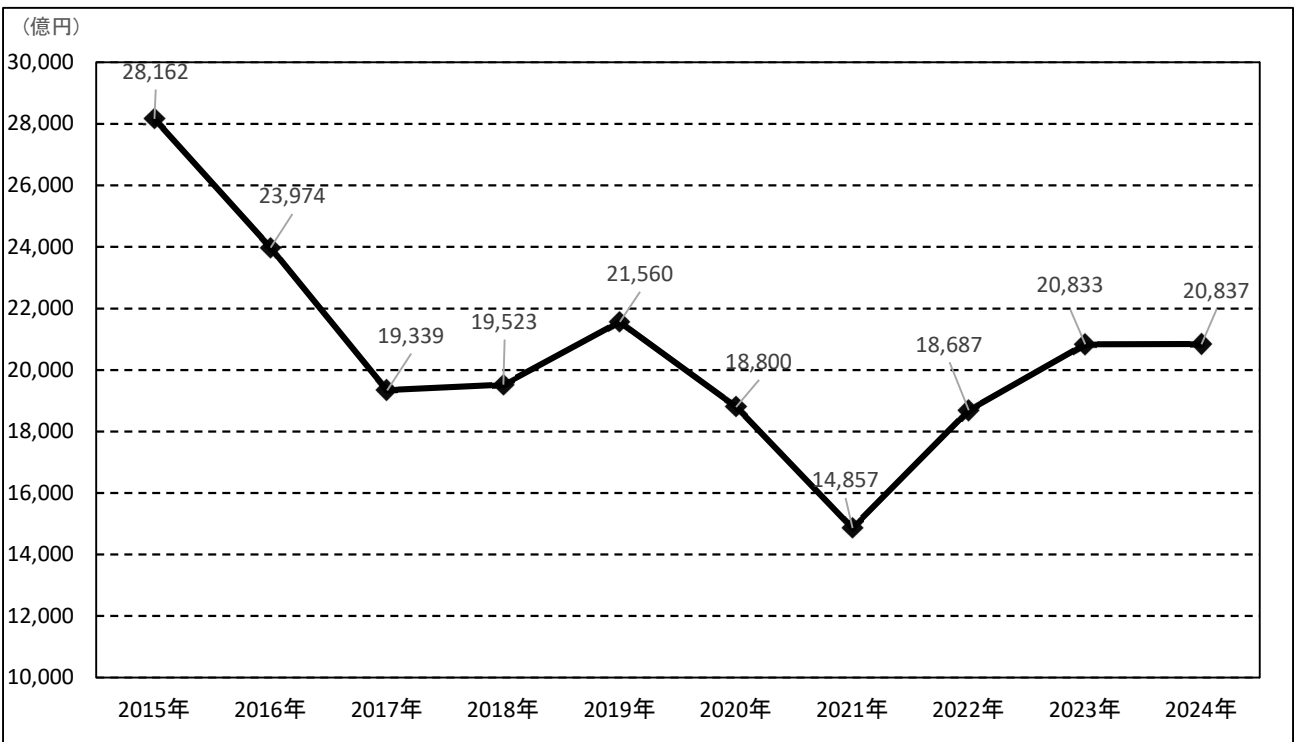
いぶりの工業

胆振の概況 2025



- 管内の製造品出荷額等は約2兆837億円と全道の30.8%を占めており、胆振地域は、石狩地域とともに道内工業の中心地で、中でも、苫小牧市は約1兆4,269億円で市町村別では全道1位、室蘭市は約5,087億円で全道3位と、特に工業が盛んな地域となっています（2024年経済構造実態調査（製造事業所調査））。
- 業種別で見ると、「石油・石炭製品」、「鉄鋼」、「輸送用機械器具」、「パルプ・紙」の4業種を合わせて、管内の製造品出荷額等の78.5%を占めており、各業種の大規模事業所が胆振地域の工業を支えている現状がうかがえる結果となっています（令和3年経済センサス）。
- 地域別特徴としては、室蘭地域には、日本製鉄（株）や日本製鋼所 M&E（株）といった鉄鋼関連産業が、苫小牧地域には、トヨタ自動車北海道（株）、アイシン北海道（株）、（株）ダイナックスなどの自動車関連産業のほか、王子製紙（株）や出光興産（株）などの基礎素材型産業が立地しています。
- 2024年度（令和6年度）は、世界販売の減少や電気自動車の出遅れによる苦戦などにより、大手自動車メーカーの半数以上が最終減益となっていますが、管内の自動車部品関連においては、過去最高の売上を記録する企業があるなど堅調な動きとなっています。製紙関連では、海外のパルプ市況の改善や生活関連事業が好調だったものの、人手不足などを背景とした物流費や人件費の上昇により、減収となっています。また、工業用地では、苫小牧東部地域における2024年度の分譲面積が過去最高となりました。
- 2025年度（令和7年度）は、米国の関税措置により、自動車関連や鉄鋼業界など輸出の比重が高い業界では、影響を受けることが懸念されます。また、製紙関連では、価格転換（値上げ）を進めることにより利益確保を図る動きとなっています。一方、苫小牧東部地域では、次世代半導体関連をはじめとする企業による投資の動きが見られます。
- 管内では、（公財）室蘭テクノセンター、室蘭工業大学、（公財）道央産業振興財団及び苫小牧市テクノセンターが、地域企業への技術開発支援等を積極的に実施するなど、地域の産業支援拠点として重要な役割を果たしています。
- 管内の企業立地の動き
 - ◇（株）カネカ苫東工場稼働
血液浄化療法で使用する吸着型血漿・血液浄化器を製造している同社は、近年の需要拡大に対応するため、製造プロセスの自動化や高度化による生産性の向上が必要なことから、生産ラインの無人化・自動化をはじめ、製品の開発・改良などを実際のプロセスを通じて一貫して研究し、新たな製造工程の確立と製品の供給基盤を確保する実証プラントを新設している。

◎胆振管内の製造品出荷額等の推移



・2011年～2020年までは工業統計調査、2021年は令和3年経済センサス、2022年以降は経済構造実態調査（製造事業所調査）による。
 ※工業統計調査及び経済センサスは従業者4人以上の事業所だが、経済構造実態調査は個人経営を除く事業所であることから、年次比較とはならない。

いぶりの工業

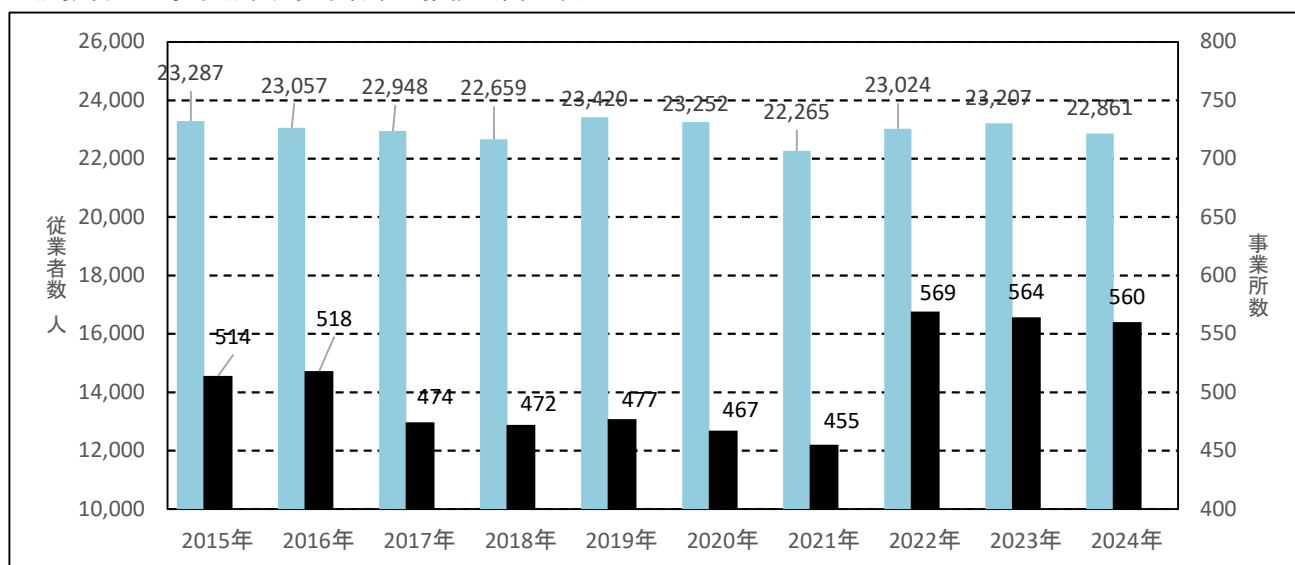
胆振の概況 2025

◎工業構造の現況

中分類名	胆振管内				北海道				全道における胆振管内のシェア% (製造品出荷額等)
	製造品出荷額等(万円)	構成比(%)	事業所数	構成比(%)	製造品出荷額等(万円)	構成比(%)	事業所数	構成比(%)	
食料品	8,112,089	5.5	89	19.6	211,086,609	38.2	1,670	32.9	3.8
飲料・たばこ・飼料	4,965,308	3.3	21	4.6	25,216,529	4.6	217	4.3	19.7
繊維工業	65,543	0.0	3	0.7	2,278,536	0.4	132	2.6	2.9
木材・木製品	2,046,742	1.4	28	6.2	15,855,323	2.9	310	6.1	12.9
家具・装備品	556,582	0.4	11	2.4	4,521,966	0.8	182	3.6	12.3
パルプ・紙・紙加工品	11,676,736	7.9	8	1.8	30,348,669	5.5	92	1.8	38.5
印刷・同関連業	337,080	0.2	19	4.2	10,048,247	1.8	309	6.1	3.4
化学工業	3,852,929	2.6	25	5.5	21,098,618	3.8	100	2.0	18.3
石油製品・石炭製品	46,604,548	31.4	5	1.1	48,470,173	8.8	40	0.8	96.2
プラスチック製品	289,794	0.2	11	2.4	8,928,039	1.6	152	3.0	3.2
ゴム製品	χ		2	0.4	1,139,593	0.2	25	0.5	
なめし革・同製品・毛皮	—		—		455,269	0.1	12	0.2	
窯業・土石	5,213,589	3.5	59	13.0	23,146,753	4.2	411	8.1	22.5
鉄鋼業	29,931,597	20.1	26	5.7	35,826,991	6.5	94	1.9	83.5
非鉄金属	1,463,659	1.0	8	1.8	2,186,668	0.4	26	0.5	66.9
金属製品	2,666,550	1.8	64	14.1	30,729,413	5.6	554	10.9	8.7
はん用機械器具	1,249,465	0.8	14	3.1	5,040,687	0.9	100	2.0	24.8
生産用機械器具	796,885	0.5	30	6.6	9,950,659	1.8	222	4.4	8.0
業務用機械器具	36,757	0.0	3	0.7	812,905	0.1	30	0.6	4.5
電子部品・デバイス	209,120	0.1	3	0.7	17,421,401	3.2	43	0.8	1.2
電気機械器具	χ		2	0.4	4,219,430	0.8	74	1.5	
情報通信機械器具	—		—		902,161	0.2	7	0.1	
輸送用機械器具	28,376,677	19.1	17	3.7	38,036,239	6.9	118	2.3	74.6
その他の製造業	52,639	0.0	7	1.5	4,354,516	0.8	151	3.0	1.2

・令和3年経済センサスによる。χ は秘匿数字。

◎胆振管内の事業所数、従業者数の推移（製造業）



・2011年～2020年までは工業統計調査、2021年は令和3年経済センサス、2022年以降は経済構造実態調査（製造事業所調査）による。

・事業所数は黒（右）、従業者数は青（左）。

※工業統計調査及び経済センサスは従業者4人以上の事業所だが、経済構造実態調査は個人経営を除く事業所であることから、年次比較とはならない。